

令和元年度第1回清水町子ども・子育て支援会議
【議事録】

日時 令和元年7月4日(木)19時00分～20時30分

場所 清水町保健福祉センター 2階 会議室

■ 出席者

委員 中島啓治 土屋博敬 中林豪 猿橋雅昭(欠) 根田朋代 野田千秋
高井正樹 清水 弘 高金由美子 石井照江
庶務 逢坂子育て支援課長 渋谷補佐 寺岡補佐 岡田児童保育係長
傍聴 0人

1 開 会 〈課長〉

皆さんこんばんは。定刻の時間となりましたので、子ども・子育て支援会議を開催したいと思います。本日は所用により町長は出席しておりません。今年度から新しく委員になった方々には私から後ほど委嘱状をお渡しします。

なお、この会議につきましては、議事録等を町ホームページ等で公表させていただきます。また、まちづくり情報コーナーにおいて、お名前を載せた状態でご意見を公表させていただきますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

2 委嘱状交付

逢坂課長(町長代理)から新規委員へ交付。

(課長) ただいま委嘱状を交付させていただきました。任期は令和2年3月31日までとなっています。委員が新しく変わった会議ですのでそれぞれの自己紹介をお願いします。

3 委員・庶務紹介

委員・庶務全員自己紹介。

4 会長あいさつ

(高井会長) 改めまして、清水小学校の高井でございます。忙しいところお集まりいただきありがとうございます。議事は4つあります。新保育施設の工事が本格的に始まり、子育て支援計画の調査に関しての協議もありますので意見ををお願いします。

(課長) 議事進行については会長からお願いします。

7 議 事 〈会長〉

(1) 第2期清水町子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査の実施について 資料1

(渋谷) 資料1(ニーズ調査票)に基づき説明

計画を策定するに当たり、子育てに係るアンケートを小学生、未就学児がいる町内の世帯へ配布する。

調査内容の説明。

【質疑】

(石井) 今後のタイムスケジュールとこれまでの間に内部で積み上げた経過を簡単に教えて欲しい。中味を見ていて文言が変わったところがある。

放課後子ども教室でも地域方々の参画を得て子ども達とスポーツや文化活動等は実際にはできていない状況だが計画の中ではどう求められていくのか教えてもらいたい。その考えてきた経過はどうなっているのか。4月から始まる計画だがスケジュールが詰まっている中での計画の考え方を確認させて欲しい。

(渋谷) アンケートの期日については早く回収をしたいわけではないが期間を延ばさなくても100パーセントの回収を計画しているわけではないのでこの程度の期日で十分と考えている。内容の修正はこの会議で意見が出れば修正した中で可能な時期に配布する。スケジュールは資料の中に計画策定のスケジュールが記載されている。時系列に沿って詳しく書いているものではないが8月から9月頃に次の会議を実施してその時に第1期目の中間報告とアンケートの報告をしたいと考えている。

(会長) その後のスケジュールは。

(渋谷) 2月末から3月初旬に第2期の素案を見ていただき、パブリックコメントについても行いたいと考えている。

(会長) 質問の中でここに至るまでの検討についてあったがその部分についてはどうか。

(石井) 全体の部分での検討について。

(課長) 1期の計画があって2期はそれをベースにして見直しなのでアンケートについてはたくさんの検討は要していない。事務局側で必要な部分と国からの指針を見て考えている。放課後子ども教室については全て町で全て実施しているものではなく、4月1日から全てを実施するというのではなく計画なので5年のうちの目処についてのスケジュールとなっている。

(石井) 一覧表に載っているのは現状やっているものと色分けされて実施して

いるものとしていないものはわかるが。

（課長）国で言っているサービスと町とでは少し違っているものもある。サービス内容等で本来の意味では地域が関わって実施するものとなっているが、実態としてはそうではないところがある。

（石井）清水でやっていることではなくて名前がついているサービスの内容を説明しているということか。

（課長）そうです。

（委員）上に本町で実施しているサービスですと書いてあるところが紛らわしいのでは。

（課長）修正します。

（渋谷）国が求めているところだが清水町の中では地域の方々に入ってもらい理念はあるが実際にはそういった活動になっていない事実がある。ここは現状の形を書くことでよいのか。

（会長）サービス内容は実態に則したものでないと勘違いされてしまう。色塗りしなければ国から求められているサービス事業としておいたほうが明確かもしれない。

（石井）アンケートをとって現状と課題と要望について計画として整理することが必要だと思う。現状のサービスがあって場合によっては町で実施していない国の制度を載せることで計画に盛り込めるとか、そういうことをアンケートで聞き出すのであれば表現を考えたほうがいいのでは。少し表現がわかり辛いと思う。

（清水）補足して書いたらいいのでは。

（渋谷）名前は子ども教室となっているが書かれているものと現状は違っている。

（会長）実態とは違っている。

（清水）小学生児童の世帯の中で放課後子ども教室について本町では実際していませんと書いてあるが。

（渋谷）ここは修正として外しています。今日配った資料では外しました。配布後に色々協議して引っかけたところがあった。保護者も実施しているのに実施していないことになるかと混乱してしまう恐れがあり、実際の子ども教室の考え方が地域の方々の参画を言っているがこのように配布させてもらっていた。

（石井）内容がわかっているとこの文面でもわかると思うが、そうではないと混乱すると思う。

（渋谷）わかりやすいように検討して修正する。

（会長）清水町で実施しているものであればサービス内容は実態に合った記述として、あみかけもせずにまとめてしまうというところです。

（課長）内容としてただ載せるイメージのほうが混乱しないかもしれない。

- (会長) 設問の中で追加説明をして実態がわかるような形に修正してください。
- (渋谷) わかりました。
- (土屋) 網掛けしているところで知らない保護者が見てみると自分も知らなかった良い制度だと思う。網掛けしてもらおうと清水町のことをわかってもらおう一つのきっかけになるのでは。是非網掛けは残してもらいたい。
- (課長) わかりやすいように工夫します。
- (清水) いまは実施してないということか。
- (課長) やっています。国が求めている実施内容と少し違っているところがあります。
- (会長) 意見を持ち帰って検討してください。その他ありますか。
- (中島) 病後児保育について清水町ではやっていないが、病時保育と病後児の二つまとめて書いてあるが。
- (渋谷) 同じ病中、病後に対してだが、医療的な知識を有したスタッフがいないとできない制度になっています。清水では保育所には常駐していない。要望があれば考えることが必要だと思っている。
- (課長) 中島委員は病後児があるなら病時もあるのではないかとっているのでは。
- (中島) 質問の中で病時と病後児を使い分けている文書もある、ニーズ調査に病時保育には触れていなくて病後児だけふれているところがある。病後児保育のみを想定しているものなのか。
- (高金) ここでいう病後児というのは保育所に出るまでの待機期間という意味なのか。それとも出席停止がかかって自宅待機している病後児という意味なのか。
- (渋谷) インフルエンザ等の罹患中であれば病時、骨折や待機期間等の自宅療養中は病後ではないか。
- (高金) いまでも行っているのではないか。完治していなくても子どもは保育所へ登所していると思う。
- (渋谷) ここで言っているのは出席できない程度のものではないかと思う。町では看護師等の配置をしていないが実際には受け入れてはいる。罹患中の子どもは受け入れしていないが、保護者の都合等で止む無く受け入れざるを得ない場合はある。拒否できない実情もある。本来病後児保育があれば対応はできると思うが現時点ではグレーな雰囲気で行っているところがある。
- (中島) 病後児でいうとインフルエンザなどで熱が下がって元気だけでも熱が下がって何日かは学校へは行けないとあるが、親もその間に仕事を休んで元気な子どもと家で一緒にただいるというところをケアしてくれるものと考えていたが。
- (渋谷) 言われているそのとおりだと思います。

- (逢坂) 制度としては看護師等の有資格者を用意して何かあれば医者に見てもらえる体制を作ることが必要とされている。制度的に言えばハードルが高いところがあって、堂々と受けていますといえないのが実情。
- (渋谷) 実際に受け入れているところもあるのでやっているといえそうなるがそうではないところがある。
- (中林) 大きな声では言えないということですね。
- (会長) 1 ページの一覧では病後児保育となっているが、病時保育となっているが(・)を入れるか。両方入れるのがよいですね。
設問のほうでは病後児保育に聞いているのか。
- (石井) そこはどんなサービスが欲しいかというところはあった方がよいのではないか。
- (寺岡) 闇雲に預かっているわけではなくて、基準が合って保育所では7度5分を超える熱があれば保護者に連絡する基準がある。集団に入ってもよいかどうかは保育所や町が判断するのではなく小児科の先生に判断をしてもらうことで了解することとしている。昔のように熱が下がって何日後から出席してくださいということではなくて、昔ダメだったリンゴ病等で熱がなければ出席してもよいという風に変わってきているところもある。受け入れ側の選別も難しくなっている。一応の基準は設けている。
- (課長) 1 も病時を加えたほうが混乱しないかもしれないので入れてはどうか。
そのように(病時・)を加えさせていただきます。
- (会長) そうすると最初の方との整合性が取れるということですね。
- (中島) もう一つですが、家庭での子育て環境等の問いについて問いの中に3つまでに丸をつけるという考え方で想定できるものの中で大事なものを3つまでということか、集計上3つまでとしたのか。
- (渋谷) 私自身も読んだときに3つまでとなぜ設定したのかというと集計上のことではありません。特に言えばその他には書ききれないものとなると思うが、例えば5つでも当てはまるもの全てでも良いとは思いますが特に思うことを考えて欲しいということでこの設定にしている。
- (中島) 私としては当てはまるもの全てに丸をつけていいのではないかと思う。
特に重要なものには二重丸でも良いと思う。
- (会長) 当てはまるものに丸を付けて丸の多いものが重要というものとも考えられる。3つに絞るとなると結構考えることになると思う。
ニーズの高さは見ることはできるが、全てにつけることとしてもどういうニーズが多いのかをつかむことができるのではないか。
- (清水) 特にという言葉はつけておいたほうが良いと思う。
- (会長) 文言の方にですね。
- (清水) 数は制限しないけれども説明として「特に」とつけておけばよいので

はないか。

（石井）ニーズには個人差がある。全部を聞きだせるほうが大切だと思う。数多く丸を付けることで救われることもあると思う。

（会長）それでもニーズは捉えられるので良いと思う。

（渋谷）少数意見も聞き取ることができるのかもしれない。

（課長）計画を作る側では少ない方がいいと思うがその辺りは検討します。広くニーズを拾えるような形にしたいと思います。

（清水）４ページ目の問 14 について 1 から 8 番までの中で全てここに当てはなるものになるのか、その他とはならないものかと考えている。その次についても 2 択とあるが、その他があっても良いのではないかと思った。

（中島）14 の 1 の病時病後児保育を利用したとあるが清水でいまやってないですね。

（寺岡）他町を利用している場合もある。

（清水）その他についてそのほかにも幾つかあった。

（会長）その部分の検討もお願いします。

（石井）対象者が 300 戸とあるが、小学生の部分は学童保育とかもう一度抽出するとあったがもう一度教えてもらえるか。

（渋谷）96 世帯に郵送で送る予定をしている。学童へは御影をあわせて 183 世帯送ります。小学生全てで 277 世帯あります。ほぼ全戸調査となります。

（石井）小学生はほぼ学童を通じて配布と回収をするが、その他の子ども達はどうなるのか。

（渋谷）郵送して返信封筒を同封して回収します。小学生用も学童用と返信用と 2 つのパターンがあります。

（石井）小学生の兄弟のニーズとしては上の子を調査する形となるのか。

（渋谷）最初は上級学年と思っていたが、いまは設問の中に第何子という設問もあるが、保護者に対して聞くことなので特に上級とかのこだわりがある設問とはしていない。初めは小学校を通じて配布してもらおうと考えていたが、そうすると 3 人のお子さんがある世帯では 3 枚書かなければならないのかということも考えられました。わかりやすく一番上のお子さんに持たせてくださいと書いていましたが、結局書く中身については同じことを書くことになるので、その言葉は外して 1 通だけを提出してくださいと書くようにしています。

（石井）6 年生の子を持つ親がもうすぐ卒業をするところなのにこれから学童の利用についてどう考えているかとかの設問についてどうやって答えるのかなど考えていた。

（渋谷）アンケートについて国の説明を聞いたときにもこれから中学生になる子のお話を聞くよりも未就学児や低学年の児童の意見について聞くべき

ものと考えていたが、仕分けができないところもあり同じ設問とさせてもらいました。

(清水) 細かい話になるが、小学生の5ページに少年団等についての設問があるが御影には文化少年団というものがあるがどこに所属するのかかわからない。

(会長) 等の中に何を想定しているのかということになるが。

(中島) 清水では卓球やバドミントンは少年団ではなくクラブになっているので少年団等になっている方が良いと思う。

(会長) そのようにします。他にありますか。

(土屋) インターネットの有害情報の部分については出されなかったのか。他の支援計画の中には入っていたものを見たことがある。

(渋谷) インターネットやゲームなど細かく分類しての聞き取りは考えていない。

(課長) 教育委員会では食育やインターネットとかの調査はしているが、ここでは子育て環境を中心に聞くようにしている。

(会長) 視点としてそういう部分は今回のアンケートからは外しているということですね。

(渋谷) はい。大事なことではあると思いますが、アンケートには載せていません。

(石井) アンケートでは外しているとのことだが、第2期計画をあげるときにそういうことを考えるというか、要望も出しても良いのだろうし。

(渋谷) 皆さんが必要だということであれば変えていくことは必要だと思う。現時点の考えでは特質して載せるということは考えていない。

(会長) 第2期の計画の中に話があった項目等が入ってこないものか。

(渋谷) あるとすると放課後の過ごし方等を聞いているところで余暇の過ごし方はあるが。

(課長) 支援事業の計画なので子どもの環境というものはそんなにここでは聞いていないものがある。

(会長) 町によってはあるところもあるようだが。

(課長) 教育委員会などで持っている計画であればもしかするとある場合もあるかもしれない。

(渋谷) 小学校の間 22 の設問の中に困っていることを聴く設問があるのでそういった中に書いてもらっても良いのではないかと思う。設問が必要だということであれば設問の18番と19番の間にそういった日ごろの子どものゲーム環境等についての設問を増やしてもいいですし、その他に書き込んでもらっても良いのではないかと思います。ここの聞き取りは細かいところではなく大きな環境について聞いているということは理解していただければと思う。その他には何を書き込まれても良いと考えて

いる。そこに書かれている少数の意見についても皆さんにも報告するつもりでいます。

（会長）他にありますか。

皆さんに聞かせていただいた意見を盛り込みながら最終的な詰めをしていただこうと思います。次に議事の2番目になる新保育施設の進捗状況についての説明をお願いします。

（渋谷） 資料2（新保育施設建設進捗）に基づき説明

- ・ドローン撮影写真（2枚）
- ・工事発注状況

（課長）計画が進んでいるものなので今時点での進捗状況をお知らせするものです。

（会長）学校もそうだが、備品等は現場の者でないとわからないと思う。予算が合ってより安ければと言うものがあるが、現場の保育士の意見をできるだけ吸い上げていただければと思う。

（課長）主に使う備品については保育士がカタログを見ながら検討をしています。希望に沿うようなものを揃えたいと思っている。

（会長）あまり渋るとせっかく買い揃えても不満が出ることもあるので是非よろしくお願ひしたいと思います。続いて議事の3番目に移ります。無償化の実施についてよろしくお願ひします。

（渋谷） 資料3（幼児教育無償化に対する本町の取り組み）に基づいて説明

（会長）何か質問はありますか。

（中島）主食について現在以上児は現物を持たせているが今後はどうなるのか。

（課長）清水町では変わりません。

（中林）町独自で10割負担していたものが、国が負担してくれるということになって町として助かる部分が出てくると思う。御影ではこれから子どもが減ってくる見込みとなっている。施設の行事に係る予算の見直しはできないだろうか。

（課長）予算の計上には子どもの数に経費をかけることが多いが、新年度予算には計上することを検討したいと思う。

（中林）小学校でも予算が厳しいとは聞いているが、子育て支援を考えると町からの地域の子どもたちへのバックアップがあってもよいのではないかとと思っている。

（課長）町の予算仕組みとしては説明が難しいところがあるがご意見として聞きたいと思います。

（会長）他にご意見はありますか。無いようであれば予定していた議事が終了

しましたのでここで閉めたいと思います。

(課長) 貴重なご意見ありがとうございました。私たちも気づかないところがあったて意見を出していただき本当にありがとうございました。先ほど話がありましたが、9月くらいにもう一度お集まりいただいて調査の結果等についての報告や第一期の進捗についての話ができればと思います。本日はここで閉めたいと思いますが何かありますか。

長時間に渡り大変ありがとうございました。今後より内容を検討していきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。

